

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

投資家主権の確立を根本的な使命とし、投資家の資産形成に役立つ企業グループとして成長。

運用資産残高
67,008億円

公募投信設定本数
9本

② 中長期の経営戦略

1. アセットマネジメント事業強化

インデックスファンド拡充、成長＆分配型ファンド、オルタナティブアセット組込商品開発。コスト抑制と顧客中心主義を堅持。

3. システム基盤強化

AI導入、合理的なシステム環境構築、内部統制・コンプライアンス強化で業務運営能力向上。

2. ファイナンシャル・サービス展開

WealthAdvisorブランド活用、国内金融機関との連携強化。資産運用フェアやセミナー開催で投資教育を推進。

4. 新NISA対応

新NISA制度の改革動向を視野に、成長投資型・成長＆分配型ファンド提供で幅広いニーズに対応。

③ 対処すべき課題

① 運用資産残高拡大基調の維持加速

- ・事業推進体制の整備強化が必要
- ・業務システム環境の構築・合理化
- ・内部統制・コンプライアンス強化

② 市場環境の変化への対応

- ・新NISA浸透に伴う運用ニーズへの対応
- ・運用会社間の競争激化と信託報酬低下への対応
- ・投資信託ラインナップの充実が必要

③ 投資教育と地方創生への貢献

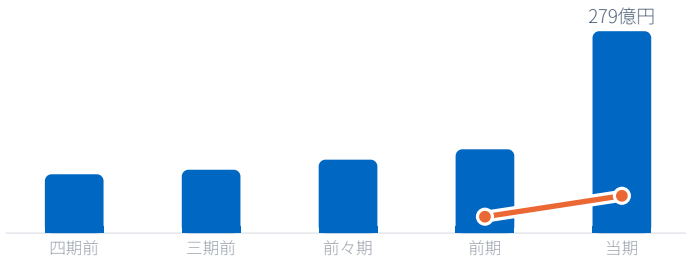
- ・資産運用フェア全国開催で金融リテラシー向上
- ・一般投資家向け有用商品・情報提供体制整備
- ・金融機関との共同による投資教育推進

面接で使えるポイント

- ・新NISA制度浸透下での個人投資意欲の高まりに、公募投信9本設定（初ETF含む）で対応。
- ・運用資産残高が2019年3月末12,846億円から2025年3月末67,008億円へ飛躍的拡大。
- ・資産運用立国実現プランへの貢献と顧客本位業務運営の実現を両輪で推進。

証券コード 4765

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
279億円営業利益率
18.5%財務健康度
83点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 61.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収
676万円

サービス業内 152位/524社

平均年齢
54.9歳

サービス業内 3位/527社

平均勤続
8.0年

サービス業内 206位/527社

女性管理職
20.0%

サービス業内 177位/371社

男性育休
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

要するに
金融商品取引法に基づき投資信託の設定、募集

主力事業・セグメント

- ・資産マネジメント 94.5%
- ・金融サービス 5.5%

強み・特徴（公開データから）

- ・営業利益率18.5%と高い収益性
- ・財務健康度83点と財務基盤が健全
- ・将来性評価は晴れ時々曇り

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: SBIグローバルアセットマネジメント(株)【4765】：決算

